

《再開館記念展》
第二弾

島根県立美術館 ニュース

NEWS vol. 095

企画展

出雲の地より

祈りの仏像 出雲国の仏像が大集結



《千手観音菩薩坐像》鎌倉時代 出雲・上乗寺蔵



《阿彌陀如来坐像》平安時代 出雲・法王寺蔵

島根県立美術館、初の仏像展

島根県立美術館は1999年の開館以来、さまざまな企画展示を行ってきました。なかでも島根ゆかりの美術を対象とした展覧会は当館の活動の主要な位置を占めています。このたび一年の休館を経た再開館記念展第ニ弾として「祈りの仏像 出雲の地より」を開催します。本展は島根県立美術館で初めてとなる仏像彫刻の展覧会です。

仏像はとりわけ飛鳥時代から鎌倉時代にかけて、日本の美術の歴史における重要な潮流を為したことで知られます。飛鳥時代の法隆寺金堂釈迦三尊像や奈良時代の興福寺阿修羅像、平安時代の平等院鳳凰堂阿彌陀如来像、そして鎌倉時代の東大寺南大門金剛力士像などは各時代を代表する名品として知られ、日本美術の頂点を形成した優品として位



置づけられます。これら時代を象徴する仏像彫刻のあり方は各地方においても固有の歴史を背景に顕在化しました。なかでも古代以来、地域性豊かな歴史文化を育んだ現在の島根県東部、出雲国では仏教文化の精華・仏像はいかなる展開をみせたのでしょうか。

飛鳥時代から鎌倉時代まで

鰐淵寺に伝わる観音菩薩像は、持統天皇六年（692）出雲国の若倭部臣徳太理が父母のために造立したことが台座に記された銘文からわかります。総高一メートルほどの金銅仏で、すらりとした身体にあどけない童顔の、明るい美しさを湛えています。本像はまさに、出雲における仏像彫刻のはじまりを伝える記念碑的な作例と言えるでしょう。

そして平安時代、樹木のもつ生命力そのものを感じさせる重厚で厳しい、そして荒々し

《観音菩薩立像》飛鳥時代(692年) 重要文化財 出雲・鰐淵寺蔵

関連企画

美術講座

聴講無料

「祈りの仏像 出雲の地より」

講師 棕木賢治(当館学芸課長)

日時 10月23日(日) 14:00～(13:30開場/約90分)

会場 ホール(190席・当日先着順)

美術館キネマ

鑑賞無料

「劇場版 聖☆おにいさん 第1紀」

(2018年日本/77分/DVD上映)

日時 10月22日(土) ①10:30～、②14:30～

会場 ホール(190席・当日先着順・各回30分前開場)

原作 中村光『聖☆おにいさん』(講談社「モーニング・ツー」連載)

製作総指揮 山田孝之

監督・脚本 福田雄一

出演 松山ケンイチ、染谷将太、山野海、佐藤二朗

配給 S・D・P

製作 パンチとロン毛 製作委員会

仏像ぬりえにチャレンジ!

参加無料

日時 会期中随時

会場 ロビー

島根県立美術館×

島根県立古代出雲歴史博物館

ふたつ見て、もらおう。

要企画展観覧料

本展と古代出雲歴史博物館「出雲と吉備」(10月7日～12月4日)の両方をご観覧の方にオリジナルグッズをプレゼント。企画展入口でスタンプカードを配布します。

2022年

9月16日(金)→10月24日(月)

開館時間 [10月] 10:00～18:30(展示室への入場は18:00まで)

休館日 火曜日

出雲において人々の祈りを受けとめてきた仏像はどのような展開をみせたのでしょうか。本展では飛鳥時代から鎌倉時代までに制作された尊像が一堂に会し、出雲国の600年に及ぶ仏像の歴史を振り返ります。

[観覧料]

オンラインチケット/一般:企画展・コレクション展セット1,000円

当日券/一般1,300(1,100)円、企画展・コレクション展セット1,450(1,220)円

大学生900(700)円、企画展・コレクション展セット1000(780)円

小中高生 企画展・コレクション展セット400(300)円

●()内は20名以上の団体料金●小・中・高生の学校教育活動での観覧は無料●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は無料

主催:島根県立美術館、日本海テレビ、NHK松江放送局、山陰中央新報社、SPSしまねグループ
後援:朝日新聞松江総局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞社、中国新聞社、新日本海新聞社、島根日日新聞社、TSKさんいん中央テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン

を残した木彫像があらわれます。この頃は人里離れた山岳が修行の場となり、ここに寺院や仏像を備える契機がありました。清水寺(安来市)は清水山山腹に位置し、平安前期にさかのぼる一木造りの十一面観音像が伝わります。

平安後期には都で洗練を極めた、穏やかで典雅な仏像がもたらされます。清水寺(安来市)の阿弥陀三尊像や法王寺(出雲市)の阿弥陀如来像などはその典型と言えるでしょう。

仏像に現実性を求めた鎌倉時代、幕府に仕えた武士たちが出雲に移り住み、新たな像を造立し、また請来したのでした。鎌倉時代の造仏活動は、玉眼の使用や歯相の表現など生身性への志向の高まりや、浄土教や禅宗と

いった新仏教の興隆など、さまざまな要因により活気づきます。こうした仏像をめぐる新たな動向が、出雲においても新旧の有力者たちによる造寺造仏を通じてもたらされることとなりました。

本展では古代から中世にいたる出雲国六百年の仏像史をたどり、地域固有の歴史の流れと、人々の祈りの心に触れていただく機会となることを期待します。国の重要文化財に指定された優作24点を中心に、近年の調査研究で存在や価値の明らかとなった文化財級の仏像彫刻多数が寺外初公開されます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

(学芸課長 棕木賢治)



左/《十一面観音菩薩立像》平安時代 重要文化財 安来・清水寺蔵
右/《阿弥陀如来立像》鎌倉時代 重要文化財 松江・善光寺蔵



左／奈良原一高(補 振鈴(神奈川県鶴見)〈ジャパネスク〉より)1969(昭和44)年
©Ikko Narahara Archives
右／勝井三雄《LITHRONE project : the appearance of light-a》2008(平成20)年
©Mitsuo Katsui



展示室 小企画
4・5

受贈記念 奈良原一高 × 勝井三雄

9月2日[金]－11月28日[月]

Shimane Art Museum Collection コレクション展



ギャラリートーク
(学芸員による作品解説)

観覧料

一般 300円
大学生 200円
高校生以下 無料

○ミュージアムパスポートを
ご使用いただけます。
○企画展と同日に観覧の
場合は半額

風の贈り物

ふたりはまるで「風」のようです。大空をのびやかに吹き抜け、時に絡み合い、また互いの方向に吹き去る。しなやかなその動きには、一本の筋が通っています。奈良原一高と勝井三雄。この戦後日本を牽引した写真家とグラフィック・デザイナーは、1931(昭和6)年、同じ年に生まれました。ふたりは、13歳で終戦を迎え、年長者たちの多くが戦死するなか、戦後の世界は自分たちで創る、そういう使命感を共有しています。2019年の夏に勝井が、半年後の2020年冬に奈良原が、その生涯を閉じました。

島根県立美術館で「手のなかの空 奈良原一高1954―2004」展(2010年)を開催した折、駆けつけた勝井は、長い時間展示室にとどまり、作品に付された奈良原の言葉をすべて読み通し、深い感銘を受けました。そして、「一高さんの文集をつくらう」と提案し、『奈良原一高太陽の肖像―文集』に結実します。生涯互いを思い合う親友同士でした。今回の展覧会は、「手のなかの空」の出品作を中心に、奈良原一高作品305点、勝井三雄の代表作となるポスターの中から89点と、勝井がデザインし、衣装は森英恵、写真は奈良原一高で、通産大臣賞を受賞したカレンダーなど、ご遺族よりご寄贈いただいた作品群をお披露目します。奈良原一高作品は、今

展示室 北斎
2

北斎コレクション第6期

10月19日[水]－11月21日[月]



葛飾北斎《肉筆画帖(鮎と紅葉)》(永田コレクション)
天保中～末期(1835～44)頃[第6期展示]

コレクション展示室2(「北斎展示室」)では、当館が誇る北斎コレクション・約1,600件の中から、北斎の錦絵・摺物・版本・肉筆画、約30点をいつでもご覧いただけます。

北斎コレクション第7期

11月23日[水・祝]－12月26日[月]

北斎コレクション第8期

2023年1月2日[月・祝]－2月6日[月]

展示室 小企画
4・5

受贈記念 奈良原一高×勝井三雄

9月2日[金]－11月28日[月]

🕒 10月16日(日) 14:00～15:00



ビル・ブランド《ヌード、ロンドン 1952》1952年

展示室 写真
4

男と女

12月1日[木]－2023年3月20日[月]

ビル・ブランド、ブラッサイ、セシル・ビートンらの写しだした魅力的な男と女。今回は、奈良原一高が50年代に写した新収蔵の肖像写真もあわせてご紹介します。

展示室 小企画
5

来松100年 織田一磨

12月1日[木]－2023年1月16日[月]



織田一磨《彼女等の生活》1926(大正15)年

日本石版画のパイオニア織田一磨(1882-1956)の松江時代を紹介する特集展示。近年収蔵された作品のお披露目も兼ねて、版画や水彩画などの所蔵品を中心に展観します。



織田一磨《松江大橋雪景》1925(大正14)年

展示室
5 小企画

来松100年 織田一磨

12月1日[木]－2023年1月16日[月]

織田一磨が愛した松江

年を含め3年間で公開いたします。スケールの大きく爽やかな、ふたりの作家からの贈り物。見事な共演をお楽しみください。

主任学芸員 葛谷典子

石版画の第一人者である織田一磨(1882-1956)は、40歳になろうとする1922(大正11)年の晩秋、山陰を目指して旅に出ます。それまで東京や大阪で水彩画家・版画家として活躍していたものの、その頃自身の病気や家庭の問題で失意の日々を送っていた一磨にとってそれは漂泊の旅でもありました。

しかし、旧知だった松江出身の版画家・平塚運一の誘いもあり11月に松江を訪れた一磨は、それから約3年間滞在することになります。宍道湖や中海などの美しい風景に触れ、また平塚をはじめとする島根の青年画家たちと交流する中で何かを感じたのでしょうか、いつかこの地に美術研究所を開きたいという強い思いが芽生えたようです。

山陰でスケッチ旅行をしながら描き溜めた水彩画などを展示販売し、その資金をもとに1925(大正14)年の夏、市内赤山に創作版画研究所を開設。その活動期間はわずか半年でしたが、《松江大橋雪景》などの傑作が生み出されます。この松江時代は一磨にとって実り多いものとなったのです。

専門学芸員 柳原一徳

▼関連イベントとして記念講演会・美術講座を開催します。詳細はイベント情報ページをご確認ください。

展示室
1 水辺の展示室

第4期 10月5日[水]－11月14日[月]



狩野探幽《波濤図》(右隻)寛永期末(1642-1644)年頃

第5期

11月16日[水]－12月26日[月]

水を画題とする絵画の名品を展示します。近世絵画・日本画は7期、洋画は3期に分けてご覧頂きます。西洋絵画は通期展示(一部展示替えあり)の予定です。

第6期

2023年1月2日[月・祝]－2月13日[月]

展示室
1 西洋絵画

第2期

10月5日[水]－2023年2月13日[月]

アレクサンドル・カバネル、ラファエル・コランなどフランス・アカデミズムの画家たちから、黒田清輝、岸田劉生ら日本洋画の巨匠たちまで当館の名品を紹介します。

第3期

2023年2月15日[水]－6月19日[月]



アレクサンドル・カバネル《若い男の肖像》1872年

展示室
1 近世絵画 日本画

第4期

10月5日[水]

－11月14日[月]



《武蔵野図屏風》(左隻)江戸時代中期

当館が所蔵する江戸時代の近世絵画、近代以降の日本画より、特に当館が誇る優品、島根県出身や来遊画家の作品など、島根ゆかりの美術を紹介します。

第5期

11月16日[水]－12月26日[月]

第6期

2023年1月2日[月・祝]－2月13日[月]

展示室
3 工芸

原清の陶芸

10月19日[水]－2023年1月23日[月]

「鉄釉陶器」の技法で重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定された島根県簸川郡(現・出雲市)出身の陶芸家・原清の豊かな陶芸世界をどうぞご覧ください。

河井寛次郎と民藝の仲間たち

2023年1月25日[水]－4月17日[月]



原清《鉄釉馬文大壺》1987(昭和62)年

企画展予告

第69回 日本伝統工芸展

日本伝統工芸展は、日本の風土がはぐくんだ、世界的にも注目を集める優れた工芸技術の保護育成を目的に、昭和29年に創設されました。世界に誇る工芸技術を正しく受け継ぎ、さらに磨き、今日の暮らしに息づく新たな創造を目指し、陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸の7部門で、厳正な審査を通過した作品が全国で展覧されます。

今年で20回目を迎える松江会場では、重要無形文化財保持者（人間国宝）の作品40点をはじめ、受賞作16点、地元山陰（島根県・鳥取県）在住作家の入選作品12点など、271点を一堂に展示いたします。



【陶芸】内田和秀（島根県松江市）
《縹緗幾何文広口花器》
※第68回日本伝統工芸展出品作

会 期 12月7日（水）～12月25日（日）

会期中無休

観覧料 オンラインチケット 一般500円

当日券 一般600円、大学生400円、高校生以下無料

- ミュージアムパスポートをご使用いただけます。
- 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの方、及びその付添の方は観覧無料。

主 催 島根県、島根県立美術館、島根県教育委員会、公益財団法人しまね文化振興財団、NHK松江放送局、朝日新聞社、山陰中央新報社、公益社団法人日本工芸会、SPSしまねグループ

助 成 令和4年度文化庁補助事業

企画展予告

第55回島根県総合美術展（県展）

観覧料無料



県民文化祭の美術展における入賞・入選作品等を展示します。

会 期 11月19日（土）～11月27日（日）

時 間 10時～18時30分（展示室への入場は18時まで）
※最終日は10時～15時

休館日 11月22日（火）

主 催 島根県文化団体連合会、島根県
共 催 公益財団法人しまね文化振興財団
主 管 島根日本画協会、島根書道会、島根洋画会、山光会、島根工芸連盟、島根写真作家協会、島根県写真家連盟、島根デザイン連盟、島根彫刻会

お問い合わせ先【事務局】島根県文化国際課 電話：0852-22-5878

作品受付 11月10日（木）県浜田合同庁舎503会議室
9時～15時

11月12日（土）島根県立美術館
※時間・場所は部門ごとに異なります。

移 動 展 12月15日（木）～12月18日（日）
会場 島根県立石見美術館（益田市）

オープニングセレモニー ご招待

参加無料 要事前申込

抽選で30名様を企画展「永田コレクションの全貌公開（一章）北斎－「春朗期」・「宗理期」編」のオープニングセレモニーにご招待いたします。
また当日抽選でテーブルカットにご参加いただけます。

日 時 2023年2月3日（金）9時40分～
（受付9時15分／約20分）

会 場 ロビー

特典 『永田生慈 北斎コレクション総目録（一卷）－「春朗期」・「宗理期」編』

申込方法

ハガキまたはFAXに必要事項をお書きの上、下記申込先にお送りください。

①お名前（ふりがな）②住所③電話番号 以上必須事項 ④FAX番号⑤同伴者のお名前（ふりがな）1名まで可

申込先

【ハガキ】〒690-0049 松江市袖師町1-5
島根県立美術館
「北斎」展 オープニングセレモニーご招待係
【FAX】0852-55-4714

申込締切

2023年1月18日（水）当日消印有効
○申込多数の場合は抽選となります。
○お客様の個人情報は、招待状の発送（郵送）以外には利用いたしません。
○当選者の発表は招待状の発送（2023年1月23日頃）をもってかえさせていただきます。（電話などでの個別のお問合せはできません。）



葛飾北斎《巳待の御札[津和野藩伝来摺物]》（永田コレクション）1797（寛政9）年

島根県津和野町出身の北斎研究者・永田生慈氏（1951～2018）が島根県へ寄贈された「永田コレクション」より、北斎の「春朗期」と「宗理期」（数え20歳から45歳頃）に焦点を当てた展覧会です。希少な春朗期の肉筆画や摺物、宗理期における第一級の摺物群「津和野藩伝来摺物」（初の全144点公開）を含む、350点以上の作品・資料を一挙公開します。世界に轟く画号「葛飾北斎」を名のることも、代表作『北斎漫画』・『富嶽三十六景』を描くこともまだ先のこと―そんな若き日の知られざる北斎の研鑽と挑戦の軌跡をぜひご覧ください。

企画展予告

永田コレクションの全貌公開（一章） 北斎－「春朗期」・「宗理期」編

会 期 2023年2月3日（金）～3月26日（日）

Event イベント情報

◎「来松100年 織田一磨」展関連

〈記念講演会〉 聴講無料

「風景の記憶—織田一磨の石版画」(仮)

講 師 小池智子(日本近代美術・版画史研究)

日 時 2023年1月7日(土) 14:00～(各回30分前開場/約90分)

会 場 ホール(190席/当日先着順)

〈美術講座〉 聴講無料

「織田一磨が愛した松江・山陰」(仮)

講 師 柳原一徳(当館専門学芸員)

日 時 2023年1月14日(土) 14:00～(各回30分前開場/約90分)

会 場 ホール(190席/当日先着順)

〈美術館キネマ〉 鑑賞無料

バリアフリー映画上映会

「若草物語」

(1949年/アメリカ/127分/DVD上映)

往年の名画を島根県民が吹き替えに挑戦したバリアフリー版の映画を上映します。

日 時 11月23日(水・祝)

①10:30～ ②14:30～

(各回30分前開場)

会 場 ホール(190席/当日先着順)



Winter Illumination

ウィンター・イルミネーション

11月30日(水)～2023年1月9日(月・祝)

17:00以降は館内の照明を一部消灯します

イルミネーションの輝きで館内外を演出します。
クリスマスのひとときを美術館でお過ごしください。



※イメージ



クリスマスコンサート 鑑賞無料

毎年好評の松江ブラバ少年少女合唱隊によるクリスマスコンサートを開催いたします。ロビーに響き渡る清らかで美しい歌声をお楽しみください。

出 演 松江ブラバ少年少女合唱隊

日 時 12月24日(土) ①13:00～ ②15:30～(各回30分前開場/約40分)

会 場 ロビー

※座席数に限りがある為、立見での鑑賞になる場合がございます。予めご了承ください。

つくる たのしむ アート スタジオ

毎月第3日曜日の「しまね家庭の日」にあわせ、造形ワークショップを開催します。

「しまね家庭の日」は、家族の絆を強め青少年の健やかな育成を目指す運動です。島根県内文化施設で「家族で来館された高校生以下の入館料等が無料」となります。ぜひご来館ください。



※イメージ

「カレンダーづくり」



※イメージ

「でこぼこ版画」

事前申込不要 参加無料

カレンダーづくり

日 時 12月18日(日)、1月15日(日)

各日10:30～16:30(予定)

※カレンダー台紙がなくなり次第終了

会 場 ロビー

所要時間 30分程度

▶参加方法等、詳細は島根県立美術館ホームページでご確認ください。

要事前申込 参加無料

でこぼこ版画

日 時 2月19日(日)、3月19日(日)

各日14:00～(約90分)

会 場 アートスタジオ

企画・監修 川路澄人
(島根大学教育学部教授)



湖畔のレストラン「RACINE」



宍道湖畔で本格フレンチの クリスマスディナー

12月1日(木)17:00～12月26日(月)
(予約受付開始:11月23日(水)より)

前日までの完全予約制

メインディッシュに鴨肉を使った
ディナーです。

オードブル・スープ・魚料理・鴨肉料理・デザート・コーヒー ……8,800円(税込)

■ランチメニュー〔11:00～15:30(L.O.15:00)〕

RACINEプレート ……1,800円

(スープ・プレート・パン又はご飯・コーヒー又は紅茶)

季節のレストランカレー ……1,200円

島根和牛のビーフシチュー ……2,800円

(スープ・サラダ・メイン・パン又はご飯・コーヒー又は紅茶)

■ディナー〔17:00～〕※完全予約制

■営業時間 10:00～18:00

(美術館開館時間に準じます)

※状況により閉店時刻が
早まる場合があります。

■レストラン電話
0852-25-6562

Gallery

ギャラリー展示のご案内

会 期	展 覧 会 名	内 容	問合せ先
10月12日(水)～10月17日(月)	地球(ほし)の願い ～人類の目覚め～	書と心象絵画の融合作品の展示。奥田遼佑書作展。	奥田 090-5700-8711
10月12日(水)～10月17日(月)	15人のゆかいな仲間たち展	水彩画、油彩画、日本画、陶芸、ポスター、写真、アクリル造形、アクリル画、木彫、石彫、戯画、陶板アートの展示。	野上 0852-52-5125
10月12日(水)～10月17日(月)	令和4年度島根県緑化ポスター原画コンクール入賞作品展	令和4年度島根県緑化ポスター原画コンクール入賞作品の展示	島根県緑化推進委員会事務局 0852-21-8049
10月19日(水)～10月24日(月)	ありがとうの心を育む 第20回ぐるぐるアート展	県内を主とする小・中学校及び公民館などで描いたぐるぐるアート作品の展示。	岩田 0852-24-5903
10月20日(木)～10月23日(日)	第48回 みどりを守る児童画コンクール入賞作品展示会	県内小学校の児童を対象とした、農業や農村、食べ物などに関係する図画作品の展示。	JAしまね金融企画課 0852-67-7741
10月21日(金)～10月23日(日)	We Live Here...余白の美	油絵、アクリル絵、水彩画、彫刻の展示。	ロバート 0852-27-6835
10月27日(木)～10月30日(日)	第55回 島根県高校書道展	県内高校生の書道作品展。	矢上高等学校(郷田) 0855-95-1105
11月 3日(水)～11月 6日(日)	第49回 在日朝鮮学生美術展 松江展	全国朝鮮学校の生徒たち(幼稚園、小・中・高校生)の全国巡回美術展。	森 090-3638-5438
11月19日(水)～11月27日(日)	第55回 島根県総合美術展〈県展〉	島根県が主催する県民を対象とした公募展で、洋画・写真・デザイン部門の展示。	島根県文化国際課 0852-22-5878
11月30日(水)～12月 5日(月)	神庭瑛子展 裸婦・Nu・裸夫	裸婦(夫)画を約30点展示。	有料 神庭 090-5375-3728
11月30日(水)～12月 5日(月)	浮世絵模写展	浮世絵を模写した絵画展。	有料 野田 0852-23-8133
12月 9日(金)～12月11日(日)	令和4年度 島根県障がい者アート作品展	県内の障がいのある方が創作した平面や立体の作品展示。	島根県障がい者文化芸術活動支援センターアートベースしまね 080-5756-3225(担当:渉)
12月16日(金)～12月19日(月)	第55回 島根県高校美術展	島根県内の高校美術部員の作品展示。	松江商業高等学校(周藤) 0852-21-3261
12月24日(水)～12月25日(日)	JA共済小・中学生交通安全ポスター書道コンクール展示会	県内の小・中学校から募集した交通安全ポスター、書道の優秀作品の展示。	JA共済連島根 0852-31-3592
12月21日(水)～12月26日(月)	Happyという展 ～神在月に集う出雲の神々～	出雲人画家Happyというの日本神話をテーマにした作品展示。	有料 細田 070-1075-4720
1月19日(水)～1月23日(日)	令和4年度 全島根小・中学校図画作品展 島根県保育所(園)・幼稚園造形作品展	県内の小・中学校の児童が創作した作品の展示。 幼稚園、保育所(園)に在籍する乳幼児の絵画作品の展示。	松江市立第三中学校 三桐 0852-21-0531
1月26日(水)～1月30日(日)	第18回 松江市保育所(園)・幼稚園造形展	松江市内の保育所(園)、市立幼稚園(幼保園)、認定子ども園の子どもの絵や作品を展示。	松江市立白湯保育所 日野 0852-21-4204

○開室時間は通常10:00～18:00です。ただし、最終日は撤収のため閉室時刻が早まる場合があります。 ○観覧料は記載のない場合は無料です。有料の場合、ミュージアムパスポートはご使用いただけません。
○ギャラリーは一般の方に貸し出ししているスペースです。展示利用をご検討の方は、美術館ギャラリー担当までご連絡ください。

こどもといっしょの鑑賞優先時間

かぞくの時間

毎日午前8時～12時

子どもたちにとって美術の楽しさ、芸術の喜びを分かちあえる場所となるよう、毎日午前8時から「かぞくの時間」を実施します。美術館でゆたかなひとときをお過ごしください。

- こどもといっしょの鑑賞優先時間(10:00～12:00)
- こころカード(アプリ)提示でお子様と来館の方4名様までコレクション展観覧無料

パスポート会員証・引換えハガキが
お手元にある方

美術館総合受付にて引換えを行っています。お早目のご来館をお待ちしております。

年間パスポートのご案内

当館主催の企画展、コレクション展を何度でもご覧いただけるほか、下記6つの特典があります。ご利用の際は、各展示室前受付でパスポートを提示してください。プレゼントとしても購入いただけます。

※ギャラリー(貸出施設)は主催者が異なるため別料金となります。

【会員特典】 企画展・コレクション展を何度でもご鑑賞いただけます。(購入日より1年間)

①企画展観覧料 半額
(同伴者2名様まで)

②ミュージアムショップでの
お買い物が 5%OFF

③「美術館ニュース」や各展覧会のチラシをお届け(年4回)

④提携施設を割引料金でご利用いただけます。

足立美術館、植田正治写真美術館、愛媛県美術館、尾道市立美術館、サントリー美術館、島根県立石見美術館、島根県立古代出雲歴史博物館、とっとり花回廊、広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館、水木しげる記念館、DIC川村記念美術館、山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館

⑤レストランで
ソフトクリーム200円

⑥来館ポイント5つで
ワンドリンクサービス

年会費 一般3,000円 大学生1,800円 小中高生900円
購入は美術館総合受付(パスポート窓口)までお越しください。

有効期限内に継続購入された場合、無料観覧券を1枚進呈いたします。

最新の情報は美術館ホームページ、SNSでお知らせします。

ミュージアムショップ

Museum Shop

美術館オリジナルボールペンができました

ミュージアムショップでは、2018年4月のリニューアル以来、様々なオリジナル商品を取り扱ってきましたが、このたびリニューアル以後初となる新商品を紹介いたします。本品は、シルバーの本体に黒字で島根県立美術館の名称とロゴマークが印字されているスタイリッシュなボールペンです。日々の生活から、ご家族やご友人へのプレゼントなどにも幅広くご利用いただけます。ミュージアムショップ店頭のみでの取扱商品です。皆様のご来店をお待ちしております。

オンラインショップ
<https://www.sam-museumshop.shop/>

ロゴマークボールペン
1,100円[税込]

島根県立美術館メールマガジンEニュース

配信をご希望の方は件名に「メールマガジン配信希望」と記載の上、samenews@pref.shimane.lg.jpまでメールをお送りください。

島根県立美術館

〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL0852-55-4700 FAX0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>

表紙作品:《不動明王坐像》平安時代 島根・千手院